

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（売場マネージャー）	・前年の3月から、時間短縮営業や部分休業などが余儀なくされ、売上は大幅に減少していた。今年は緊急事態宣言も解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種への期待から、売上や来客数が増加すると予想される。
	◎	百貨店（外商担当）	・恐らく緊急事態宣言の解除明けの3月からはイベントも再開する見込みで、インバウンドを除く消費は、ほぼ新型コロナウイルスの感染前の水準に戻ると期待される。
	○	一般小売店〔花〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除となるため、取引先の営業も始まった。経済が動き出せば、徐々に景気は良くなると予想される。
	○	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されれば、多少は来客数、売上共に増加することが予想される。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、店舗もオープンするため、必然的に売上は上がる。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染対策で来客数が少ないなか、カテゴリや企画によっては成功している部分もある。感染防止のための規制が弱まれば、客足も回復することから、更に改善していくことが期待される。
	○	百貨店（販促担当）	・いよいよ新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、気候も暖かくなる。無意識に我慢してきた心理が開放されることで、ファッションや旅行などの様々な需要が高まると予想される。新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念はあるものの、明るく楽しい話題づくりをキーポイントに、外出を促す仕掛けができればと考えている。
	○	百貨店（サービス担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、前年は営業を自粛し、食品以外の売場は閉めていたため、今月は良くなると予想される。
	○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染者が日々減少しているほか、ワクチンの接種が始まり、株価も高値で推移しているため、現在よりもやや良くなると予想している。
	○	百貨店（販売推進担当）	・緊急事態宣言も3月から解除され、今後は人出の増加が予想される。解除による解放感で、景気が浮揚することを期待している。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が少しずつ進むのに伴い、人々の安心感が広がり、購買意欲の向上につながると考えられる。
	○	百貨店（特選品担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の開始や、気温の変化など、現状に比べると、マイナス要素よりプラス要素の方が多い。
	○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が本格化することで、感染症対策が安定する。また、東京オリンピック関連の需要や、緊急事態宣言の解除によるリベンジ消費など、消費の増加につながる要素に期待している。
	○	百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少してきた2月中旬以降から、人出が増えている。また、免税対象ではないが、中国の春節に伴って在日外国人客の需要が高まり、一部のブランドで売上が急増している。3月以降は、これまでの買い控えの反動による需要を期待し、あらゆる施策を用意している。
	○	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスへの慣れや、ワクチン接種の具体的スケジュールの決定による、安心感や気の緩みなどで、消費意欲が高まると予想される。それらを確実に取り込むための対策が、より一層求められる。
○	スーパー（店長）	・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスのワクチンの効果次第であるが、春の行事が再開されていくため、人の移動に伴って景気が刺激される可能性が高い。	
○	コンビニ（経営者）	・企業でのリモートワークのスタイルが定着しつつあるため、緊急事態宣言が解除されても、周辺での日中の労働者人口は元に戻らないが、今よりも多少は良くなることが期待される。	
○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンができれば、感染は収束に向かうと予測されるため、テレワークも多少は少なくなり、ビジネス街にも人が戻ってくる。	

○	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言の解除後、今まで制限されていた娯楽や買物の時間帯を気にすることがなくなれば、改善が進むと予想される。
○	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言の解除とともに、人の動きも戻る。
○	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、近隣の公園などで過ごす人が多く、休日も弁当やおにぎりなどがよく売れている。暖かくなれば、外で過ごす人がもっと多くなり、コンビニの利用が増えそうである。
○	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言が解除になり、外出する人が増えると予想される。
○	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言が解除され、暖かくなるため、客足も戻ってくる。
○	衣料品専門店（店長）	・これから3～5月は販売が伸びるシーズンに入る。新型コロナウイルスの感染も、ひとまずは収束の方向に向かっているため、上向きになることを期待している。
○	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、少しは普通の生活が戻ると予想される。
○	衣料品専門店（営業・販売担当）	・今は近辺を歩いている人や、来店客も少ないが、2～3か月後には出歩く人も増えそうである。
○	家電量販店（店員）	・緊急事態宣言の解除をきっかけに、今よりも来客数が増える。ステイホームでのストレスが発散され、購買意欲は更に高まると感じる。
○	家電量販店（店員）	・引っ越しの下見での来店が増え、成約率も上がる。また決算月でもあるため、売上も増えるなど、景気は良くなる見込みである。
○	家電量販店（企画担当）	・新生活需要や引っ越し需要により、大型家電などがセットで大きく動くと予想される。
○	家電量販店（人事担当）	・新生活関連の需要が、遅れて出てくると期待している。また、今年は気温が低く、花粉症対策の家電の動きも遅れていたが、今後は動きが出てくると予想される。
○	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、外出の機会も増え、車の買換え需要にも拍車が掛かると予想される。
○	乗用車販売店（営業担当）	・決算期になるため、電気自動車に興味を持つなど、客の購買意欲が増す。
○	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種のスケジュールにもよるが、先が見通せることによる安心感が生まれれば、市場の回復も見込まれる。
○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・緊急事態宣言の解除後は、景気の回復がある程度見込まれる。
○	高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されるほか、春という季節柄、人の流れは必ず増えると予想される。
○	高級レストラン（企画）	・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーン事業も再開される。
○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの普及や、感染減少への期待、季節の変化、東京オリンピックの準備の開始などで、徐々にではあるが景気は良くなっていくことが期待される。ただし、大阪に関してはまず訪日客からの来日が始まらなければ、景気の回復は進まない。
○	観光型ホテル（経営者）	・3月下旬頃から少しずつ予約が入っているが、Go To Travelキャンペーンの再開までは、引き続き厳しい状況が続くと予想される。
○	観光型旅館（経営者）	・緊急事態宣言の解除を目前に、少しずつ回復してきている。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の動向により、宴席を開催するかどうか決めている企業が多く、3月初旬まではほぼキャンセルとなった。その反動で、3月下旬からは予約が少しずつ戻ってくると予想している。一方、レストランは2～4名のランチ利用が順調であるが、3月下旬以降はディナーの予約も戻ってきている。
○	都市型ホテル（フロント）	・関西では緊急事態宣言が解除予定で、春休みも間近であるため、旅行者の増加に期待している。また、リモートワークや巣籠り消費によるデユースも伸びているため、今後も利用の増加に期待している。

○	都市型ホテル（管理担当）	・緊急事態宣言が解除され、多少は回復してくるものの、新型コロナウイルスの感染者数の動向や、Go To Travelキャンペーンの再開の動きから目が離せない。
○	都市型ホテル（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染者数と宿泊者数の動きはつながっており、少しずつ感染者が減少しているため、緊急事態宣言の解除後は上向く。ただし、Go To Travelキャンペーンが実施されなければ、大きくは改善しないと予想している。実際に、前回の緊急事態宣言の解除後も、急に良くなるはなかった。先の予約状況は、研修関係のグループやスポーツの団体は動き出しており、単価を安くしたビジネス客も集客できている。
○	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が収束すれば、抑えられていた消費が回復すると予想される。
○	都市型ホテル（総務担当）	・関西の3府県の緊急事態宣言は2月末で解除される見込みであり、関東圏についても3月7日には解除されると見込まれる。それに伴い、春休みやゴールデンウィーク期間の宿泊需要や飲食店の来店客は、ある程度回復すると予想される。
○	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンの再開が期待される。
○	旅行代理店（役員）	・Go To Travelキャンペーンの再開や、新型コロナウイルスのワクチン接種の開始に対する期待感、東京オリンピックの開催に向けた高揚感などから、若干は良くなると予想される。
○	タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除される見通しのため、先行きへの期待は大きい。
○	タクシー運転手	・兵庫、大阪、京都では緊急事態宣言が解除されると発表されたため、徐々にではあるが、人出が回復すると期待している。
○	通信会社（社員）	・春以降、新型コロナウイルスのワクチンなどの動きも出てくるが、まだ半年以上はリモートワークの状況も変化しないと予想されるため、インターネットサービスへの加入は、ある程度の伸びが期待される。
○	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響でデジタルシフトが進んでいるが、現状は予算が立てられない企業が多い。来期の予算でデジタルトランスフォーメーションを進めたいという声があるため、受注は増える。
○	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束すれば、アミューズメント施設への客足が戻ることが期待される。
○	観光名所（経理担当）	・季節的にも新型コロナウイルスの感染者が減少するため、5月になれば宣言は完全に解除されると予想される。ワクチンの確保ができていないため、接種はなかなか進まないものの、時間が経過するにつれて徐々に経済も回復が進むと予想される。
○	ゴルフ場（従業員）	・緊急事態宣言が解除されれば、来場客が多くなり、単価も上昇する。
○	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染者数も順調に減少し、ワクチンの接種も始まったことから、当面は回復傾向が続く。
○	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種状況によるが、順調に接種が進めば、イベントの開催も上向きになると予想している。
○	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルのマッサージで服を脱ぐため、寒い時期になると来客数が減少する。例年、春先は客が増加するが、今年は新型コロナウイルスの影響で、どうなるか分からない。
○	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されて新学期が始まり、新型コロナウイルスの感染も少し落ち着けば、習い事などをする気持ちの余裕が出てくると期待している。
○	住宅販売会社（経営者）	・緊急事態宣言も解除されるため、今までの自粛ムードが改善される。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が遅れており、しばらくは今のよう状況が続くと予想される。
□	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・はっきり言って、先行きは分からない。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔野菜〕（店長）	・東京オリンピックの開催もどうなるかが分からず、仮に開催しても無観客となるなど、寂しい大会になる。現在、小さな商売を続けている店は上向き要素がなく、当社も3月一杯で閉店することになっている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕（店員）	・新型コロナウイルスのワクチンの効果が現れ、経済が安定してくれば、元の状態に戻る。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・緊急事態宣言が解除され、気候も良くなれば、今の状況よりも少しは良くなることを期待している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス禍による売上の減少は落ち着くものの、以前の売上に戻るまでには至らない。また、商材間の好不調の格差が更に拡大すると予測される。特に、スーツを中心としたビジネス商材は更に厳しくなる。客の購買が全体的に上向き要素に欠けるほか、取引先も不安定な状態のため、厳しい状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染開始から1年が経過し、前年比では上向きになりつつあるが、インターネット通販などの利用の増加や、外国人観光客が戻らないことから、来客数や買上客数は微増にとどまる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言が3月に解除される見込みで、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるため、感染が沈静化し、人の動きがどう変化するのが最大の焦点である。今のところは人の動きが完全に戻るとは考えにくく、当面は現状維持の状態が続くと予想している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるとはいえ、2～3か月では感染への不安感を払拭するまでには至らない。ここ数か月は、現状維持で推移するのではないかと予想している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、感染対策が習慣となった生活様式が続けば、夏に掛けての気候の変化も加わり、感染収束への見通しが実感できるようになる。そうなれば、経済活動が活気を取り戻し、順調に動き出す。ただし、間もなく決定する東京オリンピックの開催可否や、秋の衆議院選挙なども絡み、景気の見通しは不透明である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、好材料が増えたと感じる一方、ワクチン接種後の生活様式が今と大きく変わるわけではないことも分かってきた。その結果、反動消費があるとは期待できず、企業活動が上向きにならなければ、個人消費の回復もない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・業績アップのためには、Go Toキャンペーンの再開といった経済支援策などで人の動きが増えないことには、消費の増加につながらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が見通せない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・現在のように外食を控える分、食品を扱う小売店への需要が増えるという状況は、今後も続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・テナントの退店が増えている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・緊急事態宣言は解除されても、まだまだ自粛ムードは強く、飲食業、観光業のダメージは計りしれない。当然、小売業である当社への影響も大きい。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・年配の客がかなり減っている。新型コロナウイルスのワクチンもまだ少ないため、当分は変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は急変しないと予想されるため、今の状態が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・関西では緊急事態宣言が今月末で解除されるが、まだまだ新型コロナウイルス禍が続くなか、景気が良くなるとは思えない。株価も下がっており、新型コロナウイルスのワクチンがどれだけ広がるかに懸かっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がもう少し収束しなければ、変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・急に新型コロナウイルスの影響が改善するとは思えない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言が解除されるが、客との会話からは、まだしばらくは買物を抑える生活が続くと感じる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・来月のリニューアルオープンにより、来客数の増加が期待される。

<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れから、感染の収束がまだ見通せない。先行き不透明感も払拭できないため、消費意欲が改善するとは思えない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・購買につながる情報の入手方法が多様化することで、多くの情報が簡単に手に入るが、偏った情報が多いことも実感している。店舗での販売では、来店した客に寄り添った情報を伝えることで、状況の改善につながれば、販売も上向きになると感じる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・何が売れるのか、需要の動向が判断できない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新車の販売や、車検の予約数が減少している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが普及し、効果が出るまでは変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染予防に必要な衛生関連の雑貨は、引き続き動きが良い。ただし、業種を問わず、ほとんどの小売店ではマスクや消毒薬を値下げして販売しており、ドラッグストア以外でも購入できるため、需要が分散している。一方、2月中旬以降は暖かくなり、花粉が多く飛ぶ日もあるため、それらに関連する商品の動きは活発となっている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まりつつあるため、順調にいけば、景気にプラスの要素が出てくる。株価の推移と景気は余り関係がないため、新型コロナウイルスの感染状況次第となる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・緊急事態宣言が解除となっても、ドラッグストアは関連商品の売上が維持できると予想される。新型コロナウイルス禍が落ち着いた後の売上を懸念している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・高騰する株価が実体経済を反映したものではないことは、皆が把握している。消費マインドの回復には時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・近く緊急事態宣言が解除される見込みであるが、当分、来客数の回復は見込めそうにない。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・再びマスクの受注量が増加しているが、すぐに落ち着くと予想される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・春には人の動きがあるため、新型コロナウイルスの感染者が増加し、再び緊急事態宣言が発出されるのではないかと心配している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・関東圏では新型コロナウイルスの感染者数の減少が鈍化しており、緊急事態宣言の解除後のリバウンドも懸念されるなど、先行きは全く見通せない。新型コロナウイルスのワクチン接種による効果に期待したい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店員）	・団体の1組当たりの来客数が増え、客単価も上がってきている。緊急事態宣言が解除されると、更に人出が多くなる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・ここ3か月間は余り変わらず、新型コロナウイルスの影響で来客数がかかり減少している。2月下旬は感染者数が少し抑えられていると感じるが、来客数の変化はない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症による大打撃を受けている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況や、緊急事態宣言などの政府の方針に大きく左右されるため、先行きは読みにくい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（店長）	・Go To Travelキャンペーンの再開で、客が若干戻ってくる可能性はあるが、まだ内容などが決まっていないため、現時点では何ともいえない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（企画担当）	・国内客向けの集客策を実施しても、余り反応はなく、全く先がみえない。緊急事態宣言が解除されても、動きは鈍いと予想している。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波が収まりつつあり、人の動きが活発になることを願っているが、先行きの不透明さは変わらず、楽観はできない。
<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・例年であれば、ゴールデンウィークとなるため良くなるが、今年は新型コロナウイルスの影響で見通せない。

□	競艇場（職員）	・緊急事態宣言が発出中であるが、前年から電話やインターネット投票が好調であり、大きな売上減もなく、高止まりが続いている。今後も現在の状況を維持しながら、推移していくことが予想される。
□	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・大阪は緊急事態宣言が発出中で、2月のコンサートは3月と5月に延期となった。3月からはプロ野球のオープン戦や公式戦が予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では、中止や無観客となる可能性がある。なお、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないとしている。
□	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・大阪府では、来月から緊急事態宣言が解除される見通しであるが、大型の集客イベントは開催できないため、しばらく来場者数に変化はない。
□	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの報道をみても、一般の市民が接種できるのはいつになるか分からない。まだしばらくは、現状が好転することはないと予想される。
□	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・新型コロナウイルスによるライフスタイルの変化が、少しずつ住まいの選択の変化に現れ、市場を動かしている。首都圏が中心ではあるものの、在宅ワークによる働き方の変化が、各種の消費行動に影響を及ぼし、今後更に広がる気配が感じられる。
▲	一般小売店〔時計〕（経営者）	・暖かくなってくれば、新型コロナウイルスの感染も少し落ち着いてくるが、マスクを始めとする様々なウイルス対策は続く。そういった不自由さは、暖かくなるにつれて煩わしくなると予想され、買物をして明るく過ごす生活は今のところ想像できない。
▲	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・関西では緊急事態宣言が解除されたものの、何が変わるのかという感覚があり、まだまだ景気は戻らないと予想される。
▲	スーパー（経営者）	・前年の4～5月は、今回の緊急事態宣言に比べて制限の範囲も大きく、学校も休校となったため、売上が前年比で2けた以上跳ね上がった。この動きが3月中旬から顕著となったが、今年はそれほどの需要はない。大手企業を中心に、数字を作るための売出しが増えるのではないかと、警戒している。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響の収束はまだまだ感じられない。来店1回当たりの買上点数は前年比で伸びているが、来店回数の減少に歯止めが掛からない。
▲	スーパー（企画担当）	・前年は新型コロナウイルスの感染拡大で売上が一気に伸びたため、前年比では数字が厳しいという状況にある。来客数の減少傾向は変わらず、客単価も下がり気味であり、もう1品を買ってもらうための対策が必要となっている。
▲	スーパー（経理担当）	・行楽シーズンを迎えるが、緊急事態宣言が解除されても、例年のような需要は見込めない。景気の悪化や所得の減少への懸念が強く、売上の伸びも徐々に鈍化することが予想される。
▲	スーパー（販売促進担当）	・一部恩恵を受けている業種もあるが、新型コロナウイルスの影響が長引くにつれて、徐々に景況感の減退が本格化すると予想される。
▲	スーパー（社員）	・新型コロナウイルス禍が少しずつ収束していくなか、飲食店の営業時間の拡大や、外食疲れの反動により、客の食品需要が飲食店にシフトする可能性が高まると予想される。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数は減少すると予想されるが、収入の減少による個人消費の減少が徐々に顕在化してくる。その一方で、株高の恩恵に浴する人々はごく一部だと感じる。
▲	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・大企業が入っているビルはリモートワークが進んでおり、自販機はただの箱になっている。ホテルも休業しており、なかなか厳しい。
▲	旅行代理店（支店長）	・緊急事態宣言が解除された後も、客の気持ちが旅行に行きたいというマインドには傾かない。Go To Travelキャンペーンがすぐに始まると思えず、状況は悪化すると予想される。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、ビジネス関係にとどまらず、夜の会食も自粛され、予約が激減している。

	▲	テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言が解除されると、すぐに元どおりの生活に戻るのかといえば、恐らくそうではない。来場者の回復には、数か月の期間が必要であることは、容易に想像ができる。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・需要層の動きがいつ戻るのか、予想も立たない。
	▲	住宅販売会社（総務担当）	・インターネット予約やオンラインでの折衝を進めているが、やはりメインの展示場への来客数が減っているため、契約は減少傾向にある。
	▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・消費は減少傾向にあり、今後は倒産件数や労働者の雇用状況が悪くなる。金融機関の融資姿勢も一段と厳しくなると予想される。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がどのように落ち着くのか、全く見当がつかないが、現在のような中途半端な状態が急に安定し、国民の意識も明るく変わっていくとは思えない。先が見通せない不安が非常に大きい。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンも供給状況が定かではなく、働いている留学生の中には資金面で学校が続けられなくなったり、帰国しようにも飛行機が飛んでいないなど、深刻な状況に陥っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・商品が売れなくなった今、今後どのように生活していけばよいのか、指針を示してほしい。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に効果のあるワクチンの接種が、来日以降にずれ込む公算が大きい。今後1年間は、前年と大差のない状況が続くと考えられる。
	×	住関連専門店（店長）	・これまでも不況の際は、企業や個人が年度替わりの時期に予算や計画を下方修正する傾向がみられたため、今春も同様の傾向になると予想している。
	×	住関連専門店（店員）	・新型コロナウイルスの影響で生活困窮者が増えているため、良いはならない。
	×	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、外出は増えるものの、宝飾品の購入を考えるような余裕のある人は少ない。また、倒産や事業を整理する同業者も、これからまだまだ増えることが予想される。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・個人店舗のできることは、従来の販売方法を続けることしかなく、衰退する一方である。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、客離れが続いている。消費者の意識も変わってきていると感じる。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・年末から開始した新規事業の評価が良く、徐々に注文が増えつつある。今後もその効果で、増収増益が見込まれる。
	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・当社は紫外線関連の技術をベースに、様々な製品を開発している。今までは、一方的に新型コロナウイルスの悪影響を受けてきたが、最近になり、紫外線は新型コロナウイルスの殺菌に有効であるとの認識が高まっている。前年の中頃には紫外線とオゾンガスを利用した製品を開発し、販売を始めたため、それらが業績に貢献することを期待している。
	○	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者は少しずつ減少しており、自粛ムードも徐々に緩和されるため、少しは良くなる。
	○	繊維工業（総務担当）	・スポーツ用の靴下に関しては、取引先からの受注量が増加傾向にある。ただし、そのなかでも屋内用の製品に限っては、3密を避ける傾向からか、注文がほとんどない。
	○	化学工業（経営者）	・飲食店向けの商材を扱っている取引先は相変わらず厳しいが、その他の業界では問合せも増えているため、多少は良くなってくる。
	○	化学工業（企画担当）	・原料コストの上昇を販売価格に転嫁できず、惨たんたる状況となっている。ただし、今後は緊急事態宣言の解除により、消費が戻ってくると予想される。
	○	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・関西圏や中部圏では2月末に緊急事態宣言が解除される見通しであるほか、新型コロナウイルスのワクチン接種も当初の予定どおりではないものの、徐々に始まる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・現在の景況は最悪であるが、少しずつ回復してほしいと願っている。
	○	輸送用機械器具製造業（役員）	・搬送設備の新規引き合いが増えている。特に、産業機器関係の塗装ラインの引き合いが増加している。
	○	輸送業（商品管理担当）	・3～4月は引っ越しシーズンとなるため、家具などの売上が増える。

○	通信業（管理担当）	・緊急事態宣言解除による景気の回復で、ほんの少し上向く。
○	金融業〔投資運用業〕 （代表）	・株価は30年前のバブル期以来の高水準に迫ろうとしているが、いざ投資するとなると、二の足を踏まざるを得ない。この不況のなか、株価高騰の理由がはっきりせず、いつかのタイミングで一気に暴落しそうで怖い。
○	広告代理店（営業担当）	・3月には緊急事態宣言も解除となるため、広告出稿は戻ってくると予想されるが、感染の発生以前の水準には戻らない業種も多い。
○	経営コンサルタント	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むという前提で、経営者たちは事業のプランを立て始めている。当社に対しても、事業再構築補助金についての問合せが急増している。
○	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・緊急事態宣言が間もなく解除となり、駅ナカでも各店の営業時間が少しずつ元どおりになる。新型コロナウイルスの感染防止に留意しながらも、徐々に回復が進むと予想される。
○	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・東京オリンピック関連の需要により、大型商業施設や百貨店の売上改善が期待される。ターミナル駅の売場で入込も増加していると感じる。
□	食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言も解除となり、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるものの、簡単には元の状況に戻らない。
□	繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染収束が望まれる。緊急事態宣言も解除の見込みであり、市場の動きに期待している。
□	繊維工業（総務担当）	・まだまだ回復の兆しは見えてこない。和装については着て出掛ける機会が減っていることもあり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進まなければ、購入への意欲も出てこないように感じる。回復は来年以降になるのではないかと予想している。
□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先の様子には変化がなく、様子見の状態であるため、受注量が安定しない。
□	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン次第となるが、企業のコスト削減の動きは続くため、余り変化はない。
□	化学工業（管理担当）	・自動車関連や、電気・電子部品関連の取引先からは、現在の状況が続くという情報を得ている。
□	プラスチック製品製造業（経営者）	・先行きの雰囲気は重苦しいが、特に大きなマイナス要素は見当たらないため、現状維持が予想される。
□	金属製品製造業（経営者）	・半導体不足による自動車関連への影響には、多少の不安があるが、当面は今の状態が続く。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くそうである。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・新規の案件が少なく、若干はあるものの、少額の案件が多い。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言下の現状も、明らかな荷動きの鈍化はみられなかったため、状況に大きな変化はない。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が出ることが予想される。
□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、打撃を受けた企業は設備投資にまで手が回らず、最低限の補修程度しか期待できない。一方、体力のある企業は粛々と計画目標を実施するなど、企業間格差は広がると予想される。
□	建設業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されても、この状況はもう少し続く。その意味では状況は変わらず、本格的に企業活動が再開しなければ改善しないと感じる。
□	輸送業（営業担当）	・学習機の売れるシーズンであるが、品切れが発生しているため、売上は落ちる。
□	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、良くならない。自粛行動にも限界があり、特に若い世代はおとなしくできないため、感染者が再び増加して緊急事態宣言が発出され、景気は良くならないと予想される。
□	新聞販売店〔広告〕（店主）	・緊急事態宣言は2月末で解除になるが、すぐに好転するとは考えにくい。
□	広告代理店（営業担当）	・紙媒体、Web媒体共に、広告売上は前年を下回る状況が続くと予想される。
□	司法書士	・緊急事態宣言が解除されるが、新型コロナウイルスの感染が収束したわけではないため、今後も厳しい状況が続く。

	<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除になっても、すぐに景気は良くならない。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くなかで、少しは先行きが見えてきたが、決定的な材料がないため、動きは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンがどこまで有効なのかは不明であり、緊急事態宣言の解除の影響がどう出るのかも分からないが、感染が収束しても、少なからず影響は残ると予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・緊急事態宣言は2月末で解除されそうであるが、依然として新型コロナウイルスの感染収束が見通せない。まだしばらくは、先のみえない苦しい状態が続くようである。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・3～4月の行事や宴会がなくなれば、飲食業に関わる業種では、いよいよ存続を考える店も出てくる。春のイベントが自粛になれば、住宅などでも消費意欲の減退につながる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・企業間の荷物が激減し、通販関連の荷物も約1年ぶりに減っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業（副支店長）	・今後の3か月間も、新型コロナウイルスの影響が続くと予想され、景気の回復は見込めない。
	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（営業担当）	・建築や住宅向けの受注が減少するなか、原料となる鋼材の値上げにより、採算の急激な悪化が予想される。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンもなかなか入ってこず、まだまだ新型コロナウイルスの影響は続くと予想される。これから春以降、景気は悪くなっていく可能性がある。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で企業活動が活発化しないため、今後が見通せない。
雇用 関連 (近畿)	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（役員）	・PCR検査のCT値が下げられたともいわれているが、新型コロナウイルスの感染者数が低位で安定してきた。緊急事態宣言が解除され、ワクチンの接種が進み、東京オリンピックの開催が決まれば、良くなると予想される。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されれば、観光業や飲食業界に明るい兆しが見られることを期待したい。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛かれば、国内に安心感が広がり、消費意欲や企業の求人意欲も高まる。ただし、4～5月頃に再び感染が拡大し、3度目の緊急事態宣言が発出されて景気が悪化するという懸念は残る。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（職員）	・今後は現状よりも良くなると予想される。ただし、根本策がない状況では、緊急事態宣言が繰り返される可能性もあり、見通しは暗い。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの感染の収束次第であり、決め手になるのはワクチンが全ての人にいつ行き届くのかに尽きる。少なくともその計画の見通しがつくまで、各企業は慎重にならざるを得ない。一方、新年度からは少しずつ景気は上向き、ゴールデンウィーク明けから徐々に活発になっていくと予想される。今の派遣注文も、5月中旬から6月に掛けての1か月単位の注文が中心となっている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・2～3か月の短期間では新型コロナウイルスのワクチンを接種できる人も限られるため、経済への影響は小さく、大きな変化もない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（支店長）	・IT業界は大きく落ち込むことはない予想されるが、新型コロナウイルスの感染収束の状況次第でかなり変わりそうである。ただし、既に高い株価については、大きく低下することも考えられる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・2月は、1月の反動で新規求職者数が前年比で増加しているほか、新規求人数の減少が続いているため、有効求人倍率の低下が懸念される。一方、紹介件数の減少幅が縮小しており、年度末に向けて就職活動が活発化する兆しが見られる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・景気は今よりも良くなるものの、緊急雇用安定助成金が期限を迎えれば、やむを得ず解雇者が出てくる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・今後2～3か月は現状と変わらないと予想されるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、人が動き始めるため、少しは改善が進むと期待している。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・全てにおいて、不透明感が拭い切れない。

▲	アウトソーシング企業 (社員)	・退職者が出たため求人を掛けたが、応募がない。その一方、業務内容は増える見通しのため、人手不足のままでの運営となる。
▲	新聞社〔求人広告〕(担当者)	・関西の地元企業からは、緊急事態宣言が解除されても、すぐに回復基調に戻る様子はみられない。
▲	職業安定所(職員)	・企業の採用意欲の低下により、新規求人数の減少傾向が続いているほか、求職者も雇用保険の個別延長給付が終了しても、新型コロナウイルスへの懸念で就職活動に消極的な人が多いなど、雇用環境の改善の兆しが見られない。
▲	民間職業紹介機関(営業担当)	・今月と比べて大きく変わることはないが、前年との比較では、求職者側の新卒学生の間で、準備をしている人としていない人の差が広がると感じる。その結果、数か月後には準備をしてきた質の高い学生が早々と内定し、準備をしてこなかった学生は更に遅れをとることになる。新型コロナウイルスを理由に就職活動をせず、就職浪人をするといった動きが、更に増えることが懸念される。
×	学校〔大学〕(就職担当)	・求人数が減少しており、買手市場へ移行が肌で感じられる。